



香南市人生支援計画【平成27年度～平成30年度】
の取り組み状況
及び本年度の取り組み

令和2年1月

1. 香南市 人生支援計画の基本的な考え方

(1) 香南市人生支援計画の基本的な考え方

1. はじめに

人の一生において、子育てや教育、健康、老後のこと、精神的なこと、生活費など「こんな支援が欲しい」といった支援の必要性を感じることがあります。

香南市では、「**人生をトータルでサポートできる行政へ**」という目標を掲げ、人生のライフステージに合わせてトータルでサポートできる支援を行います。

市民が必要性を感じる時に、支援できる施策を“みえやすく”提供することを目的として、「人生支援計画」を**平成27年度(平成28年3月)に策定**しました。

2. 策定にあたって

「人生支援計画」を策定するにあたって、基本的な社会状況を把握しておく必要があります。特に、日本の人口減少問題は、これからの自治体の政策にあたっても重要な課題です。

日本の人口は、急激な高齢化や出生率等の低下などにより、将来、大幅に人口が減少すると予測されています。

このような急激な人口減少・高齢化は、我が国の経済、地域社会、財政、社会保障などあらゆる面で問題を引き起こします。特に、世代間の支え合いの要素が不可欠な社会保障制度は、少子高齢化によって既に、年金、医療、介護をはじめ各制度で、給付の増大や現役世代の負担の増加など多くの課題を抱えています。大幅な人口減少がさらに進んでいけば、これらの制度の持続可能な運営を確保することが難しくなる事態にも直面しかねません。

香南市においても、人口減少が進むことによって、世代間の支え合いや交流、経済、暮らしといった面で、大きな影響を与えと考えられます。

幼年期から高齢期までの各段階で満足ができるように持続可能な支援が必要であり、そのためには、多くの市民が暮らし、働き活気のある地域社会を形成するために、人口減少に歯止めを掛けることが重要だと考えられます。

3. 計画の進捗管理について

この計画については各課が今後、継続的に施策の管理を行うために、期別ごとに施策の目標と指標(KPI: 重要業績評価指標)を設定します。毎年、PDCAサイクルの視点で施策の評価・改善を行い、市民のニーズに対応した施策の改善を行っていきます。

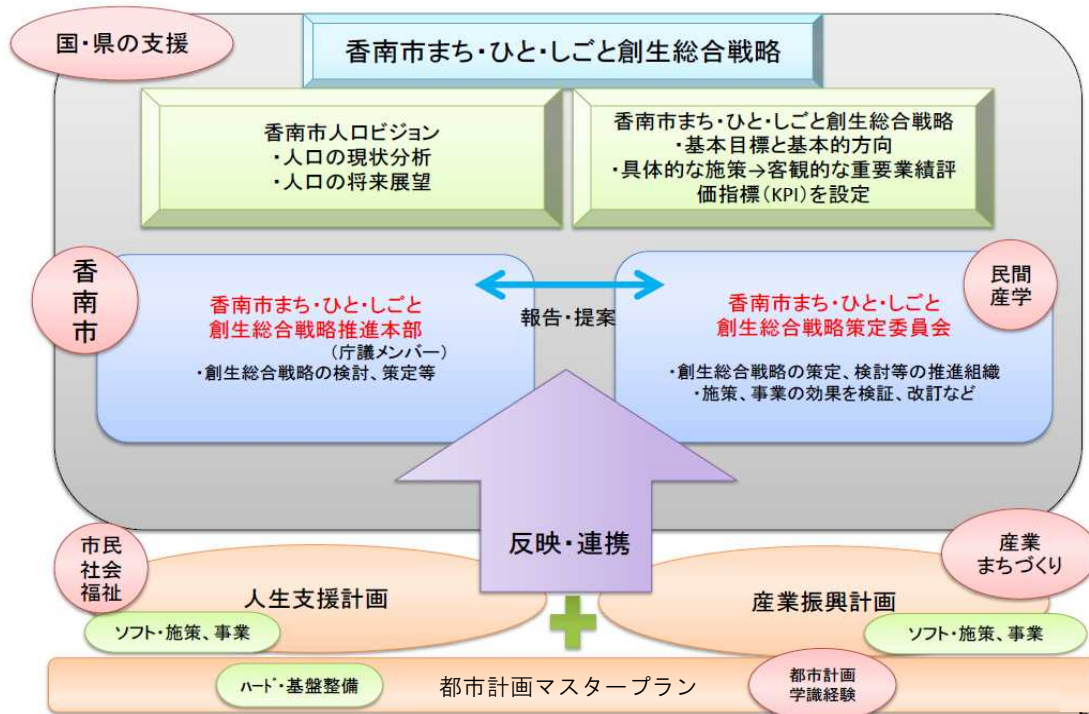
(※ PDCAとは…PLAN(計画)、DO(実施)、CHECK(評価)、ACTION(改善))



図-1 PDCAサイクルの概念図

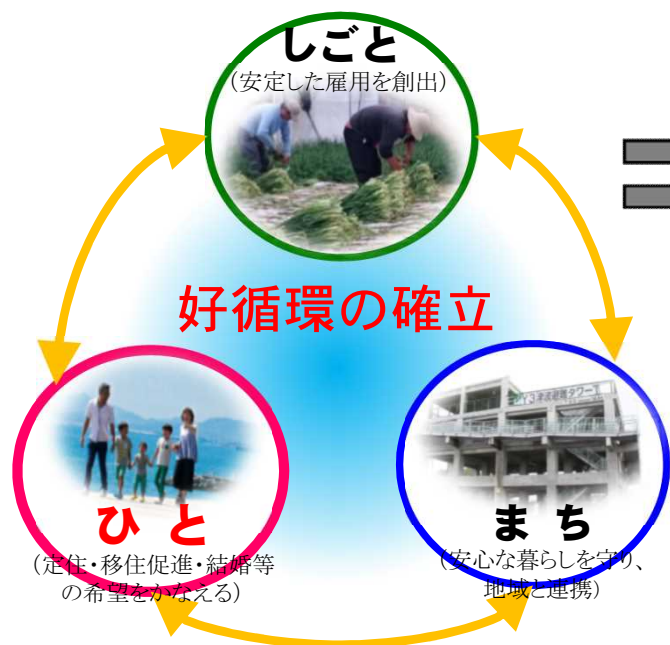
(2)「香南市人生支援計画」と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」との関係

本市では、人口減少問題に対する取組として、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しています。総合戦略の推進管理体制と基本目標、基本的方向についてその概要を、以下に示します。

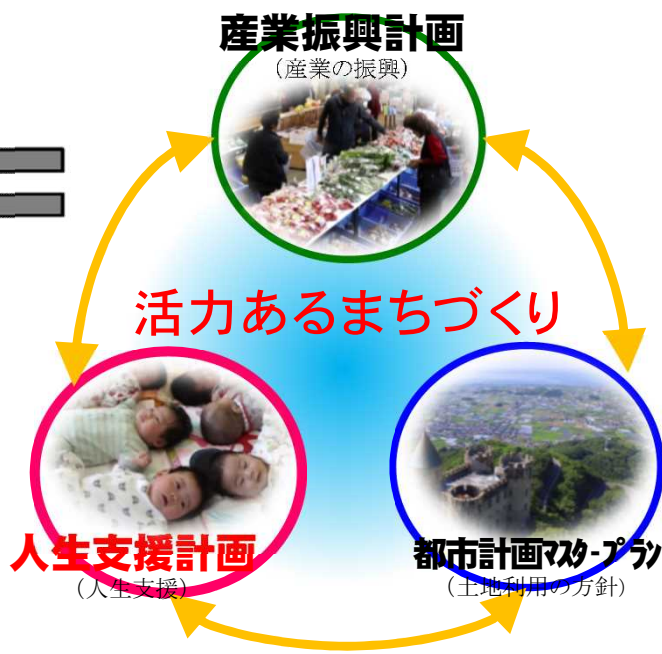


上記概要のとおり、「まちづくりグランドデザイン」、「産業振興計画」、「人生支援計画」の3つの計画を柱にして、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に取り組んでいます。まち・ひと・しごと創生総合戦略では、将来の「香南市人口ビジョン」を作成して、具体的な将来人口や出生率等の目標を定め、人口を減らさないための施策等の検討を行っております。（第2期総合戦略より「香南市都市計画マスタープラン」産業振興計画」「人生支援計画」の3つの計画を柱とします）

▼ 香南市まち・ひと・しごと 創生総合戦略

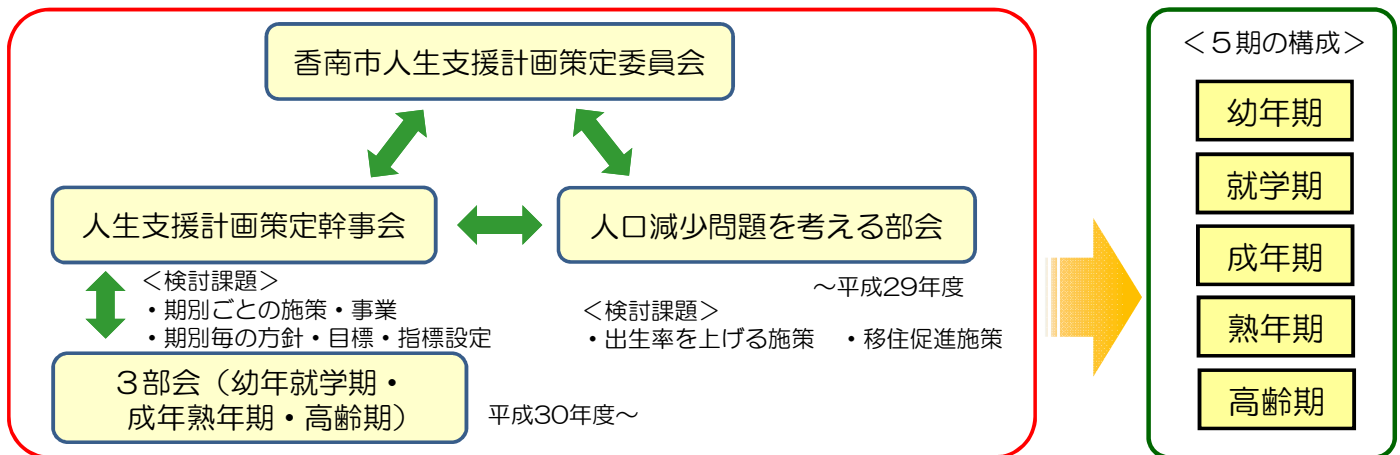


▼ 香南市のとりくむ重点施策(計画)



(3) 香南市人生支援計画の取り組み体制

「人生支援計画」の取組体制を、以下に示します。また、人生を5期（幼年期・就学期・成年期・熟年期・高齢期）に分けて、期別ごとの施策を検討しています。

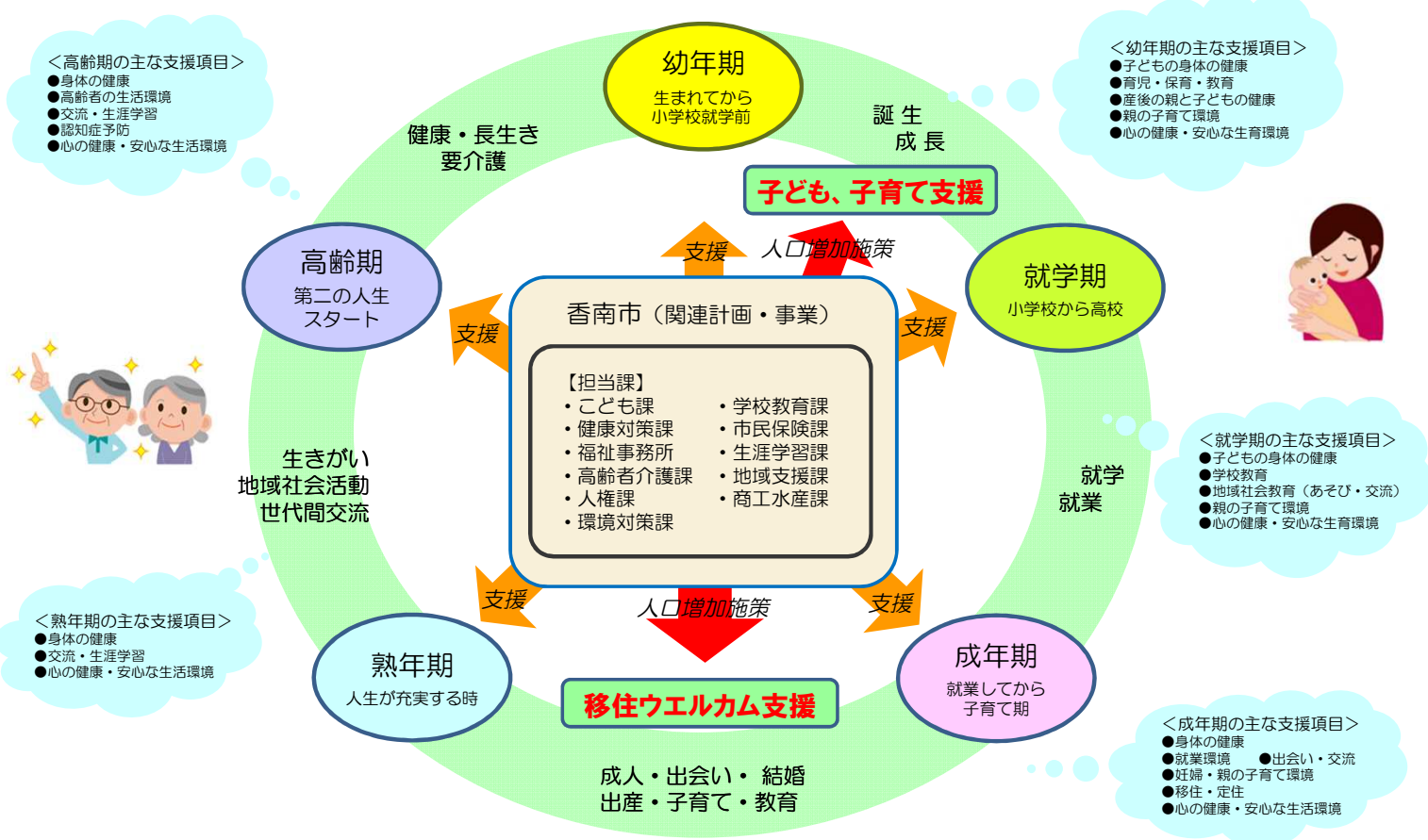


【各期別の主な課題】

部会	期別	項 目	課 題
幼年就学期部会	幼年期	出産前後の生活支援	・出産期、妊産婦支援事業等の周知の徹底が必要 ・妊産婦の健康状態の把握、切れ目ない支援が必要 ・相談の場や機会の増設が必要
		親と子どもへの生活支援	・預かり保育など支援・事業の周知方法の徹底が必要 ・乳児健診の重要性、受診率を高めることが必要
		健康・健やかな成長への支援	・望ましい食習慣、食を通じた人間形成が必要 ・育児不安などの子育てに関する相談機会の増設が必要 ・虐待情報等、家庭環境の把握が必要
	就学期	親と子への支援	・共働き夫婦のための子育て支援等の周知の徹底が必要 ・配慮の必要な家庭への支援、制度の見直しが必要
		文化・スポーツ・社会活動等支援・遊びの環境	・活動人口の減少、指導者（中心人物）と後継者の育成が必要 ・本の読み聞かせの後継者育成の強化が必要
		子どもの健全な支援	・PTA活動状況や、地域学校協働本部事業等を活用した取り組みにより一層の推進が必要
		いじめ・不登校等の相談・支援	・相談ニーズも高く、相談内容も多様化、今後も継続 ・家庭の人間関係、その他家庭児童福祉に関する相談指導の強化が必要
		教育・就学支援	・小学校の英語教育や市民交流を高める教育の推進が必要
成年熟年期部会	成年期	出会い・移住・就業支援	・青年の主体的活動への移行が必要 ・転入者や若者を呼び込むためのセールスポイントの充実の強化が必要
		妊産婦・子育て支援	・十分な事業周知が必要
		予防・医療・福祉支援	・障害者支援ニーズはあり、制度活用ができる情報提供等が必要 ・若い世代の自殺率を減少させる施策が必要
		文化・スポーツ・社会活動支援	・活動人口の減少、中核となる人材の減少への対応が必要 ・ボランティア活動者の高齢化、後継者育成が必要
	熟年期	文化・スポーツ・交流・社会活動等支援	・活動人口の減少、中核となる人材の減少への対応が必要 ・ボランティア活動者の高齢化、後継者育成が必要
		医療・福祉支援	・働き盛りの健診受診率や保健指導利用率の低さへの対応が必要
		人権相談・支援	・DV対策連携支援ネットワークとの連携や高知県DV被害者支援計画に基づき効果的啓発が必要
		高齢期部会	高齢期
高齢者の見守り体制	・高齢化に伴う見守り対象者の増加に対し、他機関との連携、見守り体制が必要		
高齢者の運動・社会活動等支援	・山間部いきいきクラブ事業参加の減少、ボランティアの高齢化による後継者の確保・育成が必要		
相談・法的支援・その他	・介護予防プログラムを複合的に提供することにより、要介護状態への移行の防止が必要		
人権擁護支援	・高齢者虐待が増加しており、関係機関と連携を図りながら、啓発を推進するなどして関係機関とのネットワーク化の強化が必要		

2. 香南市 人生支援計画の全体概要図（各期の支援項目・目標・指標）

人生をトータルでサポートすることで、安心で生きがいを感じられるような環境を創出し、「香南市に住んで良かった」と思える「人生支援」を行います。



【幼年期の目標・指標】

1. 妊産婦の安心で安全な環境づくりの推進
⇒パパママ教室参加率、母子健康手帳交付数
2. 親と子の心と体の健康づくり
⇒乳児家庭訪問回数、育児相談利用者数、育児教育相談利用者数、一人親家庭へのサポート対象者数
3. 子どもと子育て家庭に優しい環境づくり
⇒地域子育て支援センター利用者数、ショートステイ施設数、保育所の一時預かり数（延）、市のHP（子育て情報サイト）のアクセス回数
4. 質の高い保育・教育の推進
⇒本の読み聞かせ回数、朝食摂取割合（3歳児）、町民運動会参加団体数
5. すべての子どもの成長を保障する環境づくり
⇒養護相談利用者数（延）、ひとり親家庭医療費助成利用者数、児童扶養手当受給者数

【就学期の目標・指標】

1. 豊かな人間形成を育む環境づくり
⇒風揚げ・地引網参加者数、町民運動会参加団体数、スポーツ少年団（団体・会員）数、夏休みこども教室の開催数、地域支援者会議開催数
2. 子ども・親・家庭に優しい環境づくり
⇒児童クラブの利用者数
3. 親と子の心と体の健康づくり
⇒養護相談利用者数、親子料理教室開催数、朝食摂取割合（小学生）
4. 学校と地域の連携による教育環境づくり
⇒児童生徒の夢や役立ち意識の割合、地域学校協働本部設置数
5. すべての子どもの成長を保障する環境づくり
⇒相談窓口利用者数、不登校児童生徒の発生率、スポーツ大会開催数・参加チーム数、ひとり親家庭医療費助成利用者数、児童扶養手当受給者数、児童生徒の肥満傾向率（小学5年、中学2年）

【成年期の目標・指標】

1. いきいきと健やかな人に優しいまちづくりの推進
⇒健康診査受診者数、外出回数
2. 出会い・新しい家庭づくり支援の推進
⇒出会いの場の開催回数、参加人数
3. 親と子ども・働く環境との両立支援の推進
⇒パパママ教室参加率、母子健康手帳交付数
4. 生きがいを感じられ参画できる地域社会の形成支援
⇒各種教室の開催回数、市長杯・教育長杯への参加者数、スポーツ少年団、認定資格の取得者数、ボランティア登録者数、町民運動会参加団体数、市美術展への出品者数、運動習慣（週2回、男女）
5. 配慮が必要な人、誰もが安心して生活ができる地域社会の形成支援
⇒DV相談窓口利用者数、ボランティア登録者数、障害者虐待相談者数
6. 移住ウェルカム支援の推進
⇒移住促進HPのアクセス回数、移住者数（地域入居）、空き家登録数、受け入れ可能な住宅等の数

【熟年期の目標・指標】

1. いきいきと健やかな人に優しいまちづくりの推進
⇒（特定健診・胃がん検診・大腸がん検診・乳がん検診・子宮がん検診）受診率、脳卒中死亡率（SMR）の減少、こころの体温計（Mental Check System）へのアクセス数
2. 生きがいを感じられ参画できる地域社会の形成
⇒ボランティア登録者数、風揚げ・地引網参加者数、町民運動会参加団体数、運動習慣（週2回、男女）
3. 配慮が必要な人、誰もが安心して生活ができる地域社会の形成支援
⇒DV相談窓口利用者数、社会参加のための外出支援サービス利用者数、福祉医療費助成事業利用者数

【高齢期の目標・指標】

1. 健康で長生きできる環境づくりの推進
⇒（特定健診・健康診査・胃がん検診・大腸がん検診・乳がん検診・子宮がん検診）受診率、口腔機能向上教室及び高齢者食生活改善栄養教室参加者数、パークゴルフ・ベタンク参加者数、運動習慣（週2回、男女）
2. 世代間交流を楽しみ生活文化の伝承ができる地域社会づくりの推進
⇒風揚げ・地引網参加者数、町民運動会参加団体数
3. 親・子・孫で支える地域社会づくりの推進
⇒在宅介護手当・介護用品支給利用者数、ボランティア参加者数
4. 配慮が必要な人、誰もが安心して生活ができる地域社会の形成支援
⇒認知症サポーター養成講座受講者数、認知症カフェ参加者数
5. 地域での支え合いがあり、香南市に住んで良かったと思える環境づくりの推進
⇒ボランティア登録者数、いきいきクラブ事業参加者数、シニア人材センター登録者数



3. 香南市 人生支援(計画)の取り組み

平成25・26年度の取り組み

★支援事業の取りまとめを実施

香南市で実施している、若しくは今後実施を検討する支援事業を人生の各ステージごとにとりまとめ。(一部紹介)

【事業例】

- | | | |
|---|--|--|
| ◆ 幼年期
・一人親家庭へのサポート
・妊産婦の生活支援
・食育の推進 など | ◆ 就学期
・就学支援
・地域子ども見守り体制
・外国語教育(小1)など | ◆ 成年期
・婚活の推進・支援
・健康診査
・スポーツの推進など |
| ◆ 成熟期
・地域ボランティア活動支援
・消費生活相談
・親子ふれあい助成など | ◆ 老年期
・認知症に関するサポート
・高齢者の自主活動の支援
・エンディングノートの作成支援 など | |

★新たな事業等への取り組み

「こんな支援があったらいいな」を広報で募集。また、地区懇談会の意見や提案、課題などについて一部、市政へ反映することができた。

- * 乳幼時医療費の対象年齢の拡大
- * 「生活サポートセンター」の設置

平成27年度の取り組み

ライフステージに応じた切れ目ない支援を「通常施策」として、改めて各課の事業の整理を行い、継続的な施策の管理のため、目標と指標を設定(人生支援計画を策定)し、PDCAサイクルによって取り組みを開始する。

また、「重点施策」として、人口減少問題の解決に向けた移住・定住や出生率を上げる施策の検討も開始する。

★人口減少問題を考える部会の立上げ

各課の代表(主に課長補佐や係長)で組織し、人口減少問題に歯止めをかけるための対策として、移住・定住や子育て支援、就労支援など多くの分野での支援策の検討を行った。

- * 人生支援計画(案)のパブリックコメントをとる
- * 期別名称の変更…成熟期→熟年期、老年期→高齢期へ



香南市人生支援計画を策定

平成28年度の取り組み

★人口減少問題を考える部会を継続

- ・構成メンバーを20～40代の子育て世代や未婚者を対象とし、13課15人で再編成。人口増加や人口減少を食い止める施策の検討を行った。
- ・移住から定住につながる活動を期待し、地域づくりから新たな産業の創出まで、地域住民と一緒に取り組みを進める「地域おこし協力隊員」の募集について提案し、次年度からの実施へつながった。

★新たな事業等への取り組み

- * 香南市ウエルカム移住・定住促進事業
- * 香南市恋い・めぐりあい応援事業
- * 高知大学出前公開講座
- * ウォーキング習慣の推進

平成30年度の取り組み

★新たに人生支援計画期別部会を設置

- ・人生支援計画を着実に推進できる体制の強化として、人生の各世代ごとに市民が参加する部会(幼年就学期部会・成年熟年期部会・高齢期部会)を設置し、その部会ごとに世代に応じた施策の検討を行う。

★期別部会の部会員による合同会議を開催

- ・期別部会の会員が一堂に会し、部会からの策定委員の選出、H29年度の取組の点検・検証、次年度の取り組みについての会議を開催。

★新たな事業等への取り組み

- ◎ 香南市ウエルカム移住・定住促進事業
 - ・香南市空き家改修事業費等補助金 (拡充)
 - ・移住・定住引越し支援事業補助金
 - ・こうなんワーキングホリデー補助金
 - ・移住者アンケートの実施
- * 地区懇談会(地域主催分)の開催 (拡充)
- * 香南市出前講座
- * 地域おこし協力隊員募集 (拡充)
- * 保育園、幼稚園の第2子保育料無料化 (拡充)
- * 避難誘導標識整備事業
- * 自主防災組織への資機材整備補助金(拡充)

平成29年度の取り組み

★人口減少問題を考える部会を継続

- ・前年度からの構成メンバーに子育て中の保護者と大学生を追加した。人口増加や人口減少を食い止める施策について議論を深め、市長他執行部メンバーに16案を提案。提案事項については、各課で内容を吟味し次年度の第2子保育料の無料化など3案が施策へつながり、9案の方向性を協議、検討することとなった。

★新たな事業等への取り組み

- ◎ 香南市ウエルカム移住・定住促進事業 (拡充)
 - ・香南市空き家改修事業費等補助金 (移住連携)
 - ・農地付き空き家バンクプラン(移住連携)
 - ・移住希望者への「お試し滞在住宅」整備
- * 地域おこし協力隊員募集
- * 結婚新生活支援事業
- * 香南っ子夢実現プロジェクト事業
- * こうなん健康チャレンジポイント事業
- * 一般不妊治療費助成事業
- * 地域子育て支援センター事業
- * 耐震診断改修設計費補助事業 (拡充)

- ★ 人生支援計画を着実に推進できる体制を強化するため、期別部会の設置を検討

平成31年度の取り組み

★人生支援計画期別部会を継続

- ・部会ごとにテーマを決め、議論を深めた。
 - 幼年就学期部会…『こどもと親の居場所づくり』
 - 成年熟年期部会…『健康で楽しく、地域で暮らす』
 - 高齢期部会…『高齢者の生活支援』

★新たな事業等への取り組み

- * 空き家改修事業費等補助金 (拡充)
- * 地方創生移住支援事業
- * 就園援助費(幼稚園給食費) (拡充)
- * 満3歳以上の就園児に係る給食費の無償化
- * 不妊治療助成事業 (拡充)
- * LINEを活用した情報発信の検討 (HPとLINEの連携事業)
- * 医療機関送迎サービス事業の検討 (拡充)
- * ふらっと座談会(地域主催の地区懇談会)
- * 住民主体の高齢者の移動・外出支援の受け皿づくり事業
- * 集落の活力づくり支援事業

UP!

UP!

UP!

4. 香南市 人生支援計画の取り組みと成果

香南市人生支援計画の策定とその推進にあたっては、香南市において、優先的に取り組むべき期別ごとの課題等を十分にふまえ、その支援策の充実に向けた取り組みを行うとともに、人生をトータルでサポートする体制を整えながら、その実現に向けて、各期に「基本方針」と具体的な施策を掲げ、ライフステージに応じた切れ目ない支援を行っていくこととしており、それらの達成状況及び成果と課題を総評として各期別ごとに下記のとおりまとめます。

各期の取り組みの成果と課題（総評）：幼年就学期部会

幼 年 期（生まれてから小学校就学前）

《基本方針》

誰もが安心して子どもを産み育てることができ、子どもがいきいきと健やかに育つ環境を整えるために、家庭・地域・関係機関と連携しながら妊娠・出産・育児・就学前保育・教育を香南市がサポートしていく施策を展開します。また、香南市で子どもを生んで育てたいと思える環境づくりを推進します。

幼年期では、妊産婦の安心で安全な環境づくりの一つとしてのパパママ教室の開催や、子どもと子育て家庭に優しい環境づくりとして地域子育て支援センター事業、子育て情報サイトの開設を行ってきました。

パパママ教室参加率は平成27年度の14.3%から上昇傾向にあり、平成30年度には20.8%（目標値13.2%）となっています。1回のプログラムを1日（終日）かけて行っていたことが日程的に負担が大きいという声もあり、現在は、半日を複数日に分けて行うように変更を行うといった取り組みで参加率の向上を図っています。今後は、アンケートを基に、より参加者のニーズに沿った内容を取り入れるなどの取り組みを行っていきます。

地域子育て支援センター事業については、これまで妊婦や0歳から就学前の子どもと保護者を対象に、市内5カ所（野市保育所・吉川みどり保育所・香我美おれんじ保育所・赤岡保育所・夜須保育所）で開設し、育児相談や交流の場の提供を行ってきました。センター利用者数は、この4年間で約2倍近くに増加しています。また、子育て家庭に対してきめ細かで柔軟な対応と幅広い支援体制を構築するため支援センターの拠点化を進め、令和元年7月には

総合子育て支援センター「にこなん」が開所となりました。

今後は、相談窓口の周知といった課題に対して、保育所や幼稚園との連携や子育て情報サイトにおけるタイムリーな情報発信に取り組むことで、引き続き子育て家庭に優しい環境づくりを行っていきます。



令和元年7月開所の総合子育て支援センター「にこなん」

各期の取り組みの成果と課題（総評）：幼年就学期部会

就学期（小学校から高校）

《基本方針》

豊かな心を持ち、たくましく健やかに子どもが育つ環境を整えるために、家庭・地域・関係機関と連携しながら、香南市がサポートしていく施策を展開します。また、地域社会の見守り、就学支援、質の高い教育環境を整えることなどによって、香南市で子どもを育てたいと思える環境づくりを推進します。

就学期では、子ども・親・家庭に優しい環境づくりとして、共働き家庭等の支援を目的に児童クラブを実施しています。平成30年度時点で開設カ所は9カ所、その利用者数は平成26年度330人から平成30年度には370人と年々増加傾向になっており、野市小学校並びに香我美小学校では待機児童が発生している状況です。今後、待機児童の解消を図るため、野市小学校、香我美小学校で新たな施設整備といった受入体制の整備に向けての取り組みを進めています。

また、学校と地域の連携による教育環境づくりとして、地域学校協働本部の小中学校への設置を進めてきました。令和2年度までに市内全小中学校への設置を目標としていましたが、一年前倒しで令和元年度内での全校設置ができています。今後は、引き続き地域の人材の積極活用で学習・部活動・地域活動等への支援を充実するため、ボランティアの募集、呼び掛けを行っていきます。

さらに、すべての子どもの成長を保障する環境づくりとして、不登校児童生徒への支援、新規不登校の未然防止に向けた取り組みなどを行っています。本市の小学校における不登校児童の発生率は減少傾向にある一方で、中学校はほぼ横ばいとなっており、県の発生率と比較しても高い状況にあります。本市は平成30年度から2年間、文部科学省 国立教育政策研究所の「魅力ある学校づくり調査研究事業」の指定を受け、初年度には香我美中学校区がモデル校区として、新規不登校の出現を抑制するための先導的な実践を行ってきました。令和元年度にはそこから得た知見や効果的な取り組みを市内全域に展開しており、指定期間終了後も引き続き不登校児童生徒への支援と併せて、新規不登校の未然防止に向けた取り組みを行うことで全体の不登校児童生徒数の抑制を図っていきます。



魅力ある学校づくり担当者会の様子

各期の取り組みの成果と課題（総評）：成年熟年期部会

成 年 期（就業から子育て期）

〈基本方針〉

誰もが参画できる地域社会を形成し、新たな出会いがあり、家庭を築き、安心して子どもを生み育てられ、生きがいを感じられる生活環境づくり、活気ある地域社会の形成を支援する施策を推進します。

成年期では、出会い・新しい家庭づくり支援の推進として平成28年度より市主催で婚活セミナーを行うとともに、「香南市恋い・めぐりあい応援事業」による市内団体による婚活事業への支援を行ってきました。平成29年度からはこの事業を活用した団体による相談窓口も開設されており、市主催セミナーと合わせた出会いの場の参加人数は平成28年度の57人から平成30年度141人と大きく増加しました。近年、他市町村や民間事業者などでもイベント等が数多く開催されている中で、本市の特色を活かしたセミナー内容や、そこへの参加人数増加に向けた周知活動のほか、イベント等の実施団体の支援数を増やしていくことが課題となっています。同様の課題を抱える近隣市町村との連携により広域的な取り組みも始めており、引き続き結婚を希望する独身男女あるいはそのご家族に対して、出会い（相談）の機会を増やし、参加を呼び掛けていきます。

移住ウェルカム支援の推進としては、まずは香南市を知ってもらう取り組みとして、HPやSNS等を活用した情報発信を行っており、移住専門HP「香南住む〜ず」へのアクセス数は、開設以降増加を続けています。その他にも、県外での移住相談会への参加や、近隣市町村と連携した移住体験ツアーの開催等を継続していくことで、今後も市の魅力を積極的に発信していきます。移住希望者・移住者に対する受入体制の整備としては、移住を検討されている方が利用できる「お試し滞在住宅」の整備や、「空き家バンク制度」の導入を実施してきました。特に「住まい」については、HPで閲覧している方も多く、関心が高いことがうかがえるため、地域とも連携しながら、活用できる空き家の掘り起こし等に、引き続き取り組んでいきます。また、移住・定住施策について、市広報やケーブルTV等の媒体を通して情報共有をすることで、地域と一体となった受入体制の強化に取り組んでいきます。平成30年度からは、主に「関係人口」の増加を目的として、実際に香南市の暮らしと仕事を体感してもらう「こうなんワーキングホリデー」にも取り組んでおり、受入事業所数の増加を図っているところです。

今後も、関係各課や機関と連携した移住・定住施策に取り組むことで、移住者数の増加を図っていきます。



移住専門HP「香南住む〜ず」



県外移住相談会の様子

各期の取り組みの成果と課題（総評）：成年熟年期部会

熟 年 期（人生が充実する時）

《基本方針》

にぎわいとゆとりを感じ、健康で世代間交流や地域社会に貢献する喜びを感じられる環境づくりを推進します。

熟年期では、いきいきと健やかな人に優しいまちづくりの推進などを目標として主に特定健診受診率や運動習慣などの健康増進に向けた指標を設定し、取り組んできました。

まず、特定健診受診率(40～64歳)では、平成29年度目標30.0%に対し実績値29.9%でほぼ目標を達成できていましたが、翌30年度は23.6%と受診率は低下しました。実施場所により受診者数の増減があり、場所の検討も課題となっています。メタボリックシンドローム該当者割合の指標からは県や全国と比較して就寝前の食事、飲酒量や間食の頻度などが高く生活習慣の改善が必要な方が多い傾向も出ていますので、セット健診や休日健診の実施等で受診者の利便性向上を図るとともに、地域組織による勧奨(ごみ集積所掲示等)や健康パスポートを活用した受診勧奨で受診率の向上に取り組んでいきます。

運動習慣については、一日30分以上の運動を週2回、1年以上継続している方の割合(40～74歳)を特定健診の問診項目から集計していますが、年代別で見ると40～50代が特に低い状況にあり、その理由は「時間がない」ということでした。仕事で忙しい年代でもあり、時間にゆとりがない状況ではありますが、手軽に始められるウォーキングの推進のほか、運動の効果や継続の大切さについて啓発を行っていきます。



香南市ウォーキング大会の様子



市作成ウォーキングマップ

また、生きがいを感じられ参画できる地域社会の形成として、本の読み聞かせグループの活動支援や生涯学習人材バンクの登録推進を行ってきました。ボランティア登録者数は目標とする100人を超えて推移していますが、その内訳は読書ボランティアの人数が大半を占め、人材バンク登録者は、徐々に増加しているとはいえまだまだ少ない状況です。市民の生涯学習活動等の支援を目的として様々な分野における経験や資格を持っている方に登録いただく人材バンクですが、登録者が増える反面、その人材を活用する事業依頼が少ないという実態もあり、今後は登録者の増加を図るとともに、制度内容や事業依頼について広報活動に力を入れ、周知に努めていきます。

各期の取り組みの成果と課題（総評）：高齢期部会

高 齢 期（第二の人生のスタート）

《基本方針》

健康で長生きできる環境、地域交流や世代間交流を楽しめる環境づくりによって香南市に住んで良かったと思える、地域での支え合いのある安全・安心な環境づくりを推進します。

高齢期では、まず健康で長生きできる環境づくりの一環として軽スポーツを推進してきました。激しい運動ができない世代に対する健康増進や交流を目的としており、パークゴルフ・ペタンクの大会参加者数を見ると、平成30年度目標160人には届いていませんが、平成27年度132人から平成30年度155人と緩やかな増加傾向にあります。熟年期で取り上げた運動習慣について、60代以降は割合が高くなる結果も出ています。指標に反映されないところでは、ウォーキング等の運動習慣が身につけている方や、本市では大会を行っていませんが、軽スポーツの一つとしてグランドゴルフの愛好者等もあり、年代が上がるにつれて健康長寿への意識の高まりが感じられます。軽スポーツの愛好者(団体)からの呼び掛けも含め、地域間、世代間の交流にもなるよう競技人口の維持拡大に向け引き続き取り組んでいきます。

次に、配慮が必要な人、誰もが安心して生活ができる地域社会の形成支援の一つとして認知症予防や、認知症になられた方、そのご家族をサポートするための事業を行ってきました。その一つとして認知症サポーター養成講座があり、これまでに学校や職域等で開催してきた受講者数の累計は3,078人(12年間)に上ります。しかし、認知症に対する正しい知識の普及は進んでいる一方で、講師役となるキャラバン・メイトの固定化が課題となっていますので、今後は関係機関等との連携を図り、新たな人材育成とともに、活動の働きかけにも取り組んでいきます。



認知症サポーター養成講座の様子

また、高齢者が経験を活かせる就労を確保し、生きがいを持って活動できる場としてシルバー人材センターが設置されています。地域での支え合いがあり、香南市に住んで良かったと思える環境づくりの推進の一つとして、行政も活動の周知や新規会員獲得に向け取り組みを支援しています。近年、65～70歳といった年齢が現役で仕事をしているという現状もあり、会員数は伸び悩んでいます。高齢者の活動の場の確保や生きがいづくりといった点からも、シルバー人材センターが必要不可欠なものという共通認識のもと、行政が共同で研修会を開催するなど引き続き会員確保に努めていきます。

5. 数値目標と重要評価指標の評価検証結果

香南市人生支援計画に掲げる各期の事業について、4年間(平成27年度～平成30年度)を総括したKPI評価を実施しました。

なお、計画期間における実績値及び取り組みの内容については、別冊の「令和元年度香南市人生支援計画数値目標及びKPI評価書」でご確認ください。

【評価基準】

- (A) ・数値目標を達成したもの(数値目標の達成率が100%以上)
・数値目標ではないが客観的評価ができる目標を達成したもしくは達成する見込みがあるもの
- (B) ・数値目標をほぼ達成したもの(数値目標の達成率が60%以上100%未満)
- (C) ・数値目標の達成に向けて十分な進展が見られなかったもの(数値目標の達成率が60%未満)
・当計画の取り組み開始時と比べて、数値を改善もしくは維持できなかったもの、または状況を改善できなかったもの
- (*) ・数値目標を立てることができない、または数値目標を持つことが適切ではないもの

		事業数	達成度合			
			A	B	C	*
幼年期	妊産婦の安心で安全な環境づくりの推進	2	2			
	親と子の心と体の健康づくり	3	2	1		
	子どもと子育て家庭に優しい環境づくり	4	3	1		
	質の高い保育・教育の推進	3	2	1		
	すべての子どもの成長を保障する環境づくり	1				1
	計	13	9	3	0	1

		事業数	達成度合			
			A	B	C	*
就学期	豊かな人間形成を育む環境づくり	3	1	2		
	子ども・親・家庭に優しい環境づくり	1		1		
	親と子の心と体の健康づくり	2	1	1		
	学校と地域の連携による教育環境づくり	3	2	1		
	すべての子どもの成長を保障する環境づくり	7	2	2		3
	計	16	6	7	0	3

5. 数値目標と重要評価指標の評価検証結果

		事業数	達成度合			
			A	B	C	*
成年期	いきいきと健やかな人に優しいまちづくりの推進	3	2			1
	出会い・新しい家庭づくり支援の推進	3	1	2		
	親と子ども・働く環境との両立支援の推進	2	2			
	生きがいを感じられ参画できる地域社会の形成支援	5	3	1	1	
	配慮が必要な人、誰もが安心して生活ができる地域社会の形成支援	2				2
	移住ウェルカム支援の推進	5	3	1		1
	計	20	11	4	1	4

		事業数	達成度合			
			A	B	C	*
熟年期	いきいきと健やかな人に優しいまちづくりの推進	5	1	4		
	生きがいを感じられ参画できる地域社会の形成支援	2	1	1		
	配慮が必要な人、誰もが安心して生活ができる地域社会の形成支援	3				3
	計	10	2	5	0	3

		事業数	達成度合			
			A	B	C	*
高齢期	健康で長生きできる環境づくりの推進	5	1	3	1	
	世代間交流を楽しみ生活文化の伝承ができる 地域社会づくりの推進	2		2		
	親・子・孫で支える地域社会づくりの推進	2	2			
	配慮が必要な人、誰もが安心して生活ができる 地域社会の形成支援	2	2			
	地域での支え合いがあり、香南市に住んで良かった と思える環境づくりの推進	2		2		
	計	13	5	7	1	0

合計	72	33	26	2	11
----	----	----	----	---	----

6. 香南市 人生支援計画の取り組み(各取り組みを広報紙で紹介)

平成27年度に策定した人生支援計画において、PDCAサイクルの視点で施策の評価・改善を行い、毎年ステップアップを行い、新たな事業へも取り組んでおり、それらの取り組みの成果も現れています。例えば、こうした取り組みの一部を、広報でも紹介しています。

香南市『人生支援計画(案)』を策定。

昨年の4月から「人生支援計画」策定に向け、策定委員会を立ち上げ、これまでの行政施策の課題や今後の取り組み、新たな施策への模索を行い、行政サービスの充実を図るための計画づくりを行ってきました。

今回、人生支援計画の基本的な方向性などを整理し、概要版を作成しましたので、ご紹介します。

また、この計画は毎年見直しを行い、時代に合った市民ニーズに対応できるよう協議、検討を重ねていきます。



市人生支援計画策定委員会(注:民間委員11人、市議員6人で構成)



問い合わせ
地域支援課 電話57-8503

人生をトータルでサポートできる行政へ

市では市民の皆さまがそれぞれの年代で分かりやすく、目で情報を知ることができるよう、人の人生を幼年期から高齢期の5期に分けて「人生支援計画」を策定しました。

さらに、それぞれの計画にある事業については、各課が目標と指標を設定し、PDCAサイクルによる市民の皆さまのニーズに対応できるように施策の評価・改善を行っていきます。

3つの支援策

【通称施策】

- ※PDCAサイクルとは？
計画を実行するにあたり、
①Plan(計画)
②Do(実行)
③Check(評価)
④Action(改善)
という順から管理していく手法。

ライフステージに応じた切れ目ない支援施策として、各年代ごとに必要とする支援を行うために、各課での支援策を中期に分けて整理目標の設定を行いました。主に、人生支援計画幹事会にて協議しました。
(次頁参照)

【重点施策】

人口減少問題施策として支援策を考え、人口減少問題を考える会にて協議しました。
多くの市民が暮らし、働き、活気のある地域社会を形成するために、人口減少に歯止めを掛けることが重要です。(次頁参照)

人生支援計画の取り組みの体制



【取り組みの担当課】

- ◆こども課
- ◆学校教育課
- ◆生涯学習課
- ◆健康対策課
- ◆市民保険課
- ◆福祉事務所
- ◆高齢者介護課
- ◆商工水産課
- ◆環境対策課
- ◆人権課
- ◆地域支援課



6. 香南市 人生支援計画の取り組み(各取り組みを広報紙で紹介)

香南市 人生支援計画

人の人生フローチャート「5期」別支援の考え方

これまでの事業を、市民の皆さまが見て分かりやすく、また使いやすくするために、人生を「5期」に分けて項目別に種分けしました。

期別に支援する事業項目を、大項目、中項目に分類しました。

※番号は事業の大項目、◆印は中項目、()内は事業数、★印は担当課です

今後に向けて新たに取組む事業やポイントとなる事業の一部を紹介

人の人生フローチャートの構成(通常施策)

幼年期

生まれてから
小学校就学前

1. 出産期(出産前後)の生活支援等(妊婦・出産) (乳児)
 - ◆出産時(5) ◆乳幼児(3)
2. 親と子どもへの生活支援等(働く親と子・一人親と子)
 - ◆共働き夫婦(2) ◆一人親家庭(4) ◆療養期間の預かり(3)
3. 健康・健やかな成長への支援
 - ◆心身の健やかな成長(7) ◆予防・医療(3)
 - ◆配慮を必要とする子どもと家庭への支援(7)

(新)病後児保育…児童が病気の「回復期」であり、集団保育が困難な期間において、仕事等で保育のできない保護者に代わって一時的に保育します。★こども課

就学期

小学校から
高校

1. 親と子への支援
 - ◆親と子(4) ◆配慮が必要な家庭(2)
2. 文化・スポーツ・社会活動等支援・遊びの環境支援
 - ◆心とからだの育成(4) ◆交流・情操(3)
3. こどもの健全な環境支援
 - ◆見守り(1) ◆遊び場(15)
4. 医療・福祉支援
 - ◆医療・送迎(4) ◆配慮が必要な子ども(2)
5. いじめ・不登校等の相談・支援
 - ◆なやみ相談(2) ◆ひきこもり・いじめ(3)
6. 教育・就学支援等
 - ◆質の高い教育(3) ◆平等な教育(1)

(継)社会とつながる力や社会人としての資質を高める教育の推進…学校支援地域本部事業等により、学校・家庭・地域が連携し、学校の応援団として教育活動支援や環境整備への協力を行い、学校・家庭・地域が一体となって、子どもを育てることを推進します。★学校教育課

成年期

就業してから
子育て期

1. 出会い・移住・就業支援
 - ◆出会い(1) ◆移住(1) ◆就業(1)
2. 妊娠・子育て支援
 - ◆妊産婦(3) ◆共働き(1)
3. 予防・医療・福祉支援
 - ◆医療等(5) ◆心のケア(1) ◆健診(2)
4. 文化・スポーツ・社会活動等支援
 - ◆心身の健全(4) ◆交流(4)
5. 生活環境支援
 - ◆相談(1) ◆居住環境(1)
6. 人権相談・支援
 - ◆啓発・相談支援(1)

(新)移住促進事業…香南市への移住による人口増加や地域活性化を促進します。(成年期・熟年期) ★地域支援課

熟年期

人生が
充実する時

1. 文化・スポーツ・交流・社会活動等支援
 - ◆心とからだの健全(4) ◆交流(2)
2. 医療・福祉支援
 - ◆医療・福祉(1) ◆健診(3) ◆心のケア(1)
3. 人権相談・支援
4. 生活環境支援
5. 地域活性化支援
 - ◆啓発・相談(2) ◆居住環境(1) ◆移住(1)

(新)ウォーキング習慣の推進…ウォーキングコースを設定し、ウォーキングの推進を行います。(就学期・成年期・熟年期・高齢期) ★健康対策課

高齢期

第二の
人生スタート

1. 高齢者の生活支援
 - ◆住まい・移動(3)
2. 医療・福祉・ケア等支援
 - ◆医療・福祉(3) ◆健康管理(2) ◆安全・見守り(4)
3. 高齢者の運動・社会活動等支援(健康で長寿)
 - ◆社会生活維持(2) ◆健康長生き(生涯学習)(4)
 - ◆交流・社会活動(3) ◆支援後継者の育成(2)
4. 相談・法的支援・その他
5. 就業支援
 - ◆予防・相談(3) ◆心の準備(2) ◆いきがい就業(1)
6. 生活環境支援
7. 人権相談・支援
 - ◆生活相談(1) ◆ごみ出し(2) ◆人権(1)

(継)認知症施策を推進…地域包括支援センターでの相談対応、認知症サポーター養成講座の開催、認知症高齢者を考える会への協力や認知症の講演会、認知症カフェ等を開催します。★高齢者介護課

6. 香南市 人生支援計画の取り組み(各取り組みを広報紙で紹介)

香南市 人生支援計画



重点的な取り組み

をご紹介します!

平成28年12月から実施

成年期 熟年期 ★地域支援課

✓ 地域おこし協力隊員を募集

移住者の就業を確保し定住へ繋げる取り組みへ。

地域と一体となり地域資源を活かした魅力あるまちづくりを実現するため、地域づくりから新たな産業の創出まで、地域住民と一緒に取り組んでいただける地域おこし協力隊員を募集しています。

■平成29年度に地域おこし協力隊を3人募集するため、12月10日(土)大阪、12月11日(日)東京で開催された移住相談会「高知暮らしフェア」にて、PR活動を実施。

●移住相談合計 27組	●協力隊相談合計 5人
大阪 17組	大阪 4人
東京 10組	東京 1人

■1月15日(日)東京で開催された「JOIN移住交流&地域おこしフェア」にて、PR活動を実施。

●移住相談 17組

一問一回答せー

〒781-5292 高知県香南市野市町西野 2706

香南市地域支援課地域振興係

☎0887-57-8503 Fax0887-56-0576

E-mail: chiiki@city.kochi-konan.lg.jp



▲「高知暮らしフェア」大阪で香南市をPR

実績

・2月現在…2人の応募あり。

今後の予定

・随時募集に切り替え。
・各課で地域おこし協力隊の活用について可能性のあるか調査する。

今年の募集は地域支援課で2人。農林課で1人を募集しています。雇用期間は最長で3年間。住居も市が用意しています。県外にお住まいで興味があるお知り合いにぜひ教えてあげてください!



6. 香南市 人生支援計画の取り組み(各取り組みを広報紙で紹介)

香南市 人生支援計画

平成28年度から実施中

成年期 熟年期 ★地域支援課★全課

☑ 香南市ウェルカム移住・定住促進

中山間地域の人口対策として移住者を呼び込もう！

平成28年度から香我美町西川、東川、夜須町北部地域(添地以北)をモデル地域として、空き家調査を行い、空き家を活用した移住者の受け入れを開始しました。

また、昨年11月から香南市全域で空き家バンクの募集を開始しました。

移住専門相談員を9月から配置し、県外での移住フェアを含めて1月末現在まで64件の相談を受け付けました。



実績

- ・移住パンフレットの作成
- ・移住PR関連グッズの作成

今後の予定

- ・移住HP作成(3月末開設予定)
- ・お試し住宅の整備1件(翌年度へ繰り越し)
- ・移住者支援用住宅整備1件(翌年度へ繰り越し)

New

【新たな取り組み】

モデル地域に関係なく香南市全域での施策を考えました。

- ・空き家バンクの募集(平成28年11月から)…2月時点で登録3棟
- ・農地付き空き家バンクプラン(平成29年度から)…4月号広報で紹介
- ・移住者等空き家リフォーム補助(平成29年度から)…4月号広報で紹介

平成28年度から実施中

成年期 熟年期 ★地域支援課

☑ 出会いの場の提供とライフプランセミナー

セミナーでは、カップリングを行わず、婚活イベントで成功する秘訣を教えます。



出会いの場に支援を！

出会いにつながるイベントの開催に対して、上限10万円の補助を実施。1団体へ2回の補助を行いました。また、ライフプランセミナーでは、結婚希望者に対して、お付き合いのマナーや異性との接し方など、夜須町羽尾大釜荘で楽しく勉強会を開催しました。



実績

- ・団体 よりあいにこ家
9月4日 男21人 女17人
夜須中央公民館で講話など
- 12月24日 男10人 女9人
夜須中央公民館で講話
- ・婚活セミナー(市主催)
10月30日 男10人 女9人
羽尾大釜荘で異性へのアプローチ方法やマナーを実施。

今後の予定

- ・平成29年度も継続実施。

平成28年度から実施中

幼年期 就学期 ★こども課

☑ こうなんファミリーサポートセンター

地域で子育て助け合い！育児でがんばる人をサポートします！

子育て中の家庭を支援するためファミリーサポートセンターを昨年11月に開設。育児の支援をして欲しい人と、育児の支援をしたい人の会員登録を行い、会員相互での育児支援ができる取り組みです。

実績

- ・おねがい会員10人、まかせて会員19人、両方会員1人、ペア3組(1月末現在)

今後の予定

- ・まかせて会員講習会の開催(2回)
- ・会員同士の交流会・情報交換会の開催
- ・ファミサポ通信の作成

キャッチフレーズ
「つながれ！幸せの輪
地域でみんなが子育て応援隊！」



活動支援の様子

6. 香南市 人生支援計画の取り組み(各取り組みを広報紙で紹介)

香南市 人生支援計画

平成29年度から実施

成年期 熟年期 ★地域支援課

✓結婚新生活を応援します。

新しい家庭づくりに支援を！

■香南市結婚新生活支援事業…経済的理由で結婚に踏み出せない低所得者を対象として、婚姻した世帯に対し、婚姻に伴う新規の住宅取得又は賃貸に係る経費や引っ越しに係る経費として最大24万円を支給します。詳しくは広報4月号で紹介します。

新居への引っ越し費用や住居の家賃、取得費用の一部を補助します



不妊治療は治療を重ねるごとに費用がかかるため、治療費の一部を助成します。

平成29年度から実施

★健康対策課

✓不妊治療の一部助成

成年期 熟年期

子どもを産みやすい環境づくりへ。

■香南市一般不妊治療費助成事業…不妊に悩む夫婦を対象として、保険適用外の人工授精に要する費用の一部を補助することで、経済的な負担の軽減と少子化対策の充実を図ります。詳しくは広報4月号で紹介します。

平成29年度から実施

幼年期 就学期 成年期 熟年期 高齢期 ★健康対策課

✓香南まるごとポイント制度

ポイントを貯めて健康で楽しい人生を。

■こうなん健康チャレンジポイント事業…高知県健康パスポート事業の市町村枠を活用し、市独自の生活習慣の改善に繋がる事業を行います。

集めたポイントは香南市観光協会の香南市ギフトカタログで利用できるクーポン券と交換します。詳しくは広報4月号で紹介します。

まずは高知健康パスポートを活用した「ポイントサービス」を展開します！



夢を持つことの大切さや、夢を実現することの喜びを体験してもらいます。

平成29年度から実施

★生涯学習課★学校教育課★地域支援課

✓香南っ子夢実現プロジェクト

就学期

今後の予定

昨年10月に小学6年生316人を対象に実施したアンケートの中から、夜須小学校で提案があった「科学のすごい実験をみて、実際に試したい」という夢を平成29年度に実現します。

子どもたちの夢を募集して、のびのびと育つことを目的にさまざまな場面で夢の実現を支援！



■香南っ子夢実現プロジェクト…市内8校の小学5年生から、体験してみたいことを募集します。芸能人に会いたい、施設を作ってそこで遊ぶなどではなく、今の自分の力では叶えられない夢を募集して、選ばれた1つの夢を叶えます。

6. 香南市 人生支援計画の取り組み(各取り組みを広報紙で紹介)



市では人口減少と地域活性化のために、移住者が地域に定着し、地域の担い手として活動できる取り組みを推進します。

就業定着の支援、空き家の情報提供や住まいに関する支援、子育て支援など、まちの魅力ある豊かな暮らしのために、移住・定住化に関する施策の充実と総合的な情報発信、PRに取り組みます。

■地域支援課 ☎57-8503

就業

■就農を支援します

- ▶ 就農直後の経営確立を支援します(農業次世代人材投資事業費補助金)
- ▶ 農業担い手育成センターの就農希望者長期研修等の研修料を補助します(担い手育成センター研修支援事業費補助金)

■創業を支援します

- ▶ 創業資金の融資を受けた際の借入利子の一部を補助します(創業支援利子補給金)

■新規就業・事業者を支援します

- ▶ 市内事業所の人材育成にかかる研修費を補助します(産業人材育成事業費補助金)
- ▶ 市内事業所(製造業)に新たに就職した若者に対し、奨学金返還額を助成します(未来人材育成奨学金支援助成金)
- ▶ 就業体験の機会を提供するために必要な宿泊費を補助します(インターンシップ支援事業費補助金)

住居

■空き家活用を支援します

- ▶ 中山間地域モデル地区の空き家を市が約10年間借り上げ、移住希望者に対するお試し住宅や移住者支援住宅として活用します
- ▶ 市内全域を対象として賃貸・売却を希望する空き家を、住宅を探している移住希望者に「空き家バンク」として情報提供します

「空き家バンク」の詳細はこちら!



その他

■人生に沿った支援を

- ▶ 人生支援計画で、子育て支援、医療支援等、ライフステージごとの支援策検討と協議を続けます

7. 香南市 人生支援計画のまとめ(平成27年度～平成30年度)

香南市人生支援計画は、「香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に取り組む上で、“ひと”に関する計画の柱に位置付けられており、その推進にあたっては、人の人生を5期(幼年期・就学期・成年期・熟年期・高齢期)に分け、年代に応じて必要とされる支援策を市民に分かりやすく整理した上で、ライフステージに応じた切れ目ない支援を行っていくために、各期別にPDCAサイクルによる見直しや検証を行い、毎年度バージョンアップを図り、支援策の充実に向けて取り組んできました。

本計画では、人口を増やすという最終的な目標に向けた重要施策として、移住・定住促進事業の推進や出生率を上げるための結婚・出産・子育てに関する支援策の充実を図ってきました。移住については、移住専門相談員を配置した相談窓口を設置し、本市の魅力発信の取り組み(ガイドブック・移住相談会・HPやSNS等)や空き家バンク・お試し滞在住宅の整備を行い、相談窓口を通じた県外からの移住者数は年々増加しています。また、出産・子育てにおいては、出生数などの数値にすぐに表れるものではありませんが、不妊治療への助成や保育園・幼稚園の第2子保育料無料化など支援策の充実を図ってきました。

平成30年度からは、ライフステージに応じた切れ目ない支援の拡大および充実を着実に推進していく体制を強化するために、関係機関や住民を代表する皆さんを委員とした期別部会(幼年就学期部会、成年熟年期部会、高齢期部会)を立ち上げ、部会ごとに世代に応じた施策の検討を行い、また、PDCAサイクルによる数値目標及びKPIに対する評価検証をより細やかに行うことにしました。

KPIとして抽出した72事業のうち、平成30年度末実績で数値目標を達成(A評価)しているのは33事業(全体の45.8%)となっており、数値目標の達成度は決して高いとは言えない状況にあります。これらの達成度合いを引き上げるためには、各部会を中心に各期の課題を掘り下げるとともに、その課題を3部会が共有することで、人生をトータルでサポートする体制をより一層強化していかなければなりません。同時に、課題解決に向けた施策の在り方や必要性の検証を行い、施策の新規・拡充あるいは見直しといった対応策を、住民と行政が一緒につくりあげていくことが重要だと考えています。

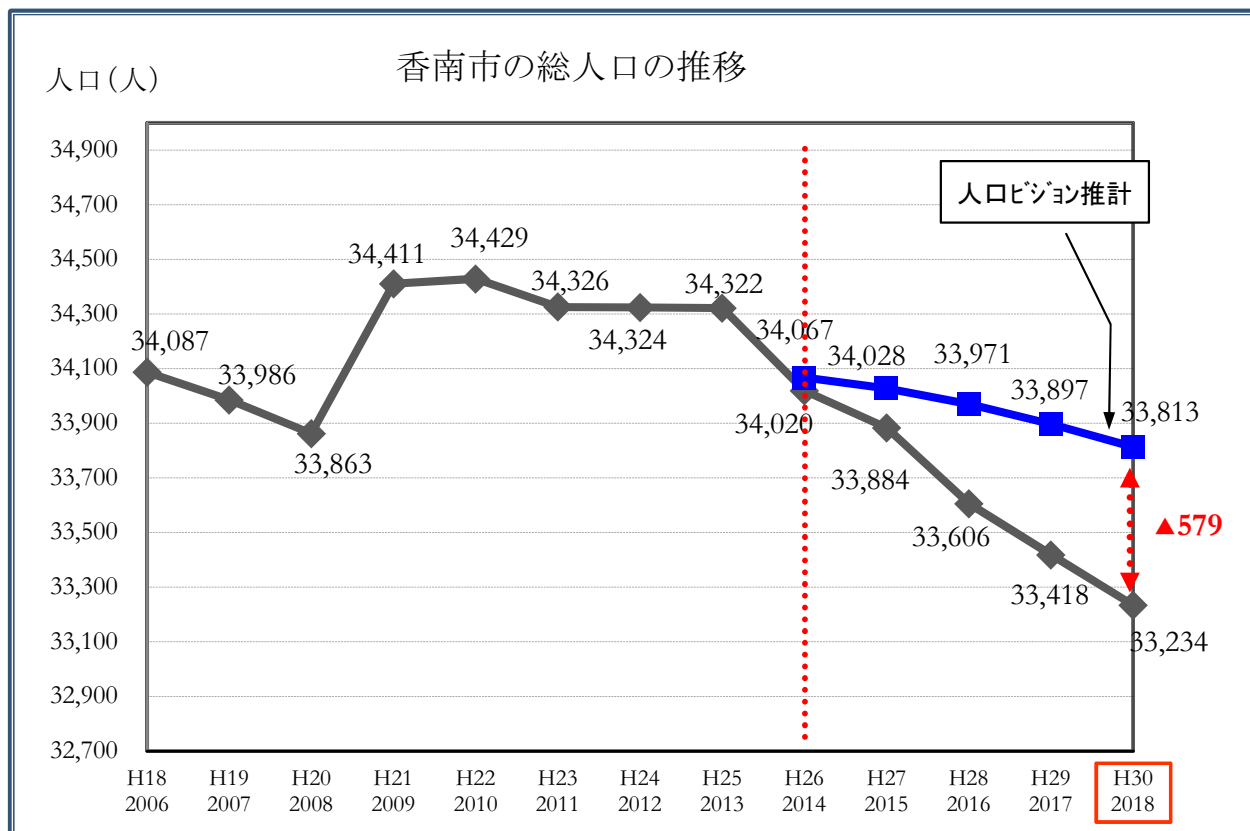
以上のことをふまえ、香南市人生支援計画では、三部会制を継続していく中で、市民のニーズに沿った施策の充実を図るとともに、それらの施策の実効性を高めるため各部会が連携した取り組みを引き続き行っていきます。

【参考資料】香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略より抜粋

● 香南市における総人口の推移

人口ビジョン策定後(平成27年度)の香南市の総人口の推移については、緩やかでは減少傾向にも、その傾向は変わらず、平成30年3月末は33,418人で前年度比が▲188人、平成31年3月末は33,234人で前年比は▲184人となっています。

また、2060年に30,800人を目標としている人口ビジョン推計よりもその減少率は大きくなっています。



出典) 住民基本台帳(3月末)

◆ 香南市の人口増減

	人口(3月末)	前年比	出生	死亡	自然増減	転入	転出	社会増減
平成26年度	34,020	-	245	417	-172	1,238	1,368	-130
平成27年度	33,884	-136	241	380	-139	1,353	1,350	3
平成28年度	33,606	-278	241	474	-233	1,257	1,302	-45
平成29年度	33,418	-188	205	458	-253	1,269	1,204	65
平成30年度	33,234	-184	240	445	-205	1,258	1,237	21

出典：住民基本台帳・高知県人口移動調査

人口減少に歯止めをかけ、持続的発展にむけ、香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、「香南市産業振興計画」「香南市人生支援計画」と連携した取り組みがスタートして5年を迎えます。

産業の振興や雇用者の増加、移住・定住促進の仕組みづくりによる移住者の増加、また、子ども、子育て支援・環境の充実支援や協働のまちづくり(防災・交流など)など少しずつではありますが、成果が出ています。

香南市人口ビジョンについては、2060年を対象期間としており、5年目を迎える今年度での時点修正などの見直しは行わず、引き続き、人口30,800人を目標とします。



令和元年テーマ

こどもと親の居場所づくり

- こどもたちが安心できる「居場所」づくり
- 困ってる親や、問題を抱えている子どもたちの「マイノリティ」に対する居場所の提供

幼年就学期部会

ファシリテーター 坂本ひとみ(神戸医療福祉大学)

◎…部会長 ○副部会長

部員	1	中脇正人 ◎	野市小学校放課後子ども教室 指導者
	2	武田了子 ○	夜須幼稚園長
	3	前田真衣	香南市社会福祉協議会
	4	竹倉美智	主任児童委員
	5	中元啓恵	教育委員
	6	武田和也	香南市PTA連絡協議会長
	7	山崎和佳子	香我美おれんじ保育所保護者
	8	山下英雄	城山高校校長
	9	藤川尚司	香我美小学校校長
	10	石井真里奈	子育てサークル まざあくす代表者

部会開催日程と主な議題

第1回	・テーマの決定	・就園援助費支給事業
5.20(月)	・各事業の取り組み精査	・総合子育て支援センター
	・H30年度の取り組み実績について	・魅力ある学校づくり
第2回	・第1回人生支援策定委員会が出された意見と第1回部会での意見を深掘りして協議	
8.23(金)	・保育料の無償化について、部会で協議	
第3回	・10月末KPI進捗状況から意見集約	
11.18(月)	・第1回、第2回の部会意見とりまとめ	
	・次年度へ協議持ち越し事項のとりまとめ	

幼年就学期部会に関連する新たな取り組み事業など「報告」

今年の新施策

ダイレクトに市政情報を発信

- LINEを活用した情報発信
7月1日より運用開始。
登録数：12月23日現在886件
- 担当…地域支援課

【R1の取り組み】

市広報、市HP、香南ケーブルテレビでの周知の他、各学校・幼稚園・保育園・子育て支援センター等でPRチラシを配布して周知。

【R2の取り組み】

利用者を増やす今後の対策として、LINEの「QRコード」を読み取れる機会を増やします。
・手に取りやすいカード(名刺)型等のPRグッズを作成
・成人式や入学式、お祭りなどの各種イベント会場でPRグッズを職員自らが手渡しするなどして周知方法を強化していく

R2 年度新施策や拡充事業(案)

■拡充 こうなんファミリーサポートセンター【こども課】

令和2年4月よりのいちふれあいセンター内の「にこにこルーム」や総合子育て支援センター「にこなん」で利用できるように準備を進める。

■拡充 不登校と引きこもり児童の支援【学校教育課】

香我美中学校区で実施した「魅力ある学校づくり調査研究事業」を香南市全域で実施し、不登校生徒の減少に繋げる。

■拡充 放課後児童クラブ施設整備事業【こども課】

野市小学校及び香我美小学校で発生している待機児童の解消を図るために、新たな施設整備を行う
(令和3年度運用開始予定)

今年の新施策

子育て世代を応援

■満3歳以上の就園児に係る副食費補助金

令和元年10月から実施された幼児教育・保育の無償化に伴い、満3歳以上の就園児に係る副食費(給食費)に対して補助を行う。

- ・対象者…市内に住所を有し、市内の公立以外の認定こども園、保育所及び幼稚園に在園する満3歳以上の児童の保護者。
- ・補助の範囲…施設に支払うべき副食費
- ・補助限度額…月額4,500円
- ※市内に住所を有し、市内の「公立保育所及び幼稚園」に在園する満3歳以上の副食費は、手続不要で無償となる。

パパママ友だち大作戦

市の情報をもっと身近に！**LINE@** 始めました
市のホームページと連動して日々の暮らしのお役立ち情報、子育て情報、四季折々のイベント情報などを配信していきます！

今すぐ友だち登録を！

①ID検索
検索欄に
@konan.city
と入力して検索！

②QRコード

気になる情報を
いつでもすぐ！

※生活に必要な情報を6つのアイコンで一覧に表示

ピックアップ

パパママ同士の交流情報や相談室
ロ・支那料理の紹介など子育て世代
必読のサイトへ！

子育て

週末や夜間に休園を願った時、学費に広報はなけりけり大赤字な申込み
いも早く届けてもらえれば退園から
は元気に復活！！

※詳しい登録方法は市のホームページを参照ください
■地域支援課 ☎57-8503

▲子育て支援センターで周知したPRチラシ

今後の部会で協議が必要な事項

保育の 受入体制

- ・令和元年10月からの無償化に伴い保育士不足が予想される
- ⇒母親が働きやすい環境になることで保育所や幼稚園で預ける幼児が増えることが予想され、保育士不足が深刻な問題。

■こども課

保育士不足は無償化の前からの課題となっており、これまでもパートタイム職員を雇うなどして対応している。今後も保育士の確保に努める。

外国人 との 対話

- ・外国人移住者とのコミュニケーションが必要
日本語が通じない場合に制度説明や、聞き取りなどうまくできる仕組みがないか？
- ⇒香南市内での外国人受け入れ実態を一定明確化すること。
⇒全庁で対応可能なALT、CIRを導入検討をする必要があるのではないかな。

■部会事務局

・高知県国際交流協会が主体となる日本語教室を市内で開催できないか関係課で協議し、R2年度からの実施を目指す。

■総務課

・新庁舎建設に併せて窓口対応として課に設置するタブレットに英語、中国語、韓国語の双方向の翻訳アプリ、聴覚障害者向け単方向の日本語専用の通訳アプリを導入する。

公園が 少ない

- ・みんなが一緒に遊ぶような公園が野市にない
- ・体操をするぐらいの小さな公園はある
- ・県外の公園では、外国人が多く見られ言葉が通じなくても子どもたちは一緒に遊んでいた。外国人親子のコミュニケーション場に！

⇒香南市内の公園の状況。管理の状況や地区管理の公園の数と場所は。公園マップ的なものを作成して周知すれば利用者も多くなる。

■部会事務局

公園マップの作成及び、新たな公園の必要性について、建設課と協議する。

朝食の 摂取割合 3歳児

- ・3歳児がなぜ朝食を摂っていないのか分析し施策につなげる必要がある

⇒最近調理のできない親が増えてきており調理の機会や経験が少ない。また、仕事で朝が早く朝食を作る間がないなど、朝の時間に余裕がないライフスタイルになっている。

■健康対策課

親になってからでは遅いので、親になる前からの指導としてパパママ教室の中身を検討する



成年熟年期部会

ファシリテーター 村上和子(高知工科大学)
◎…部会長 ○副部会長

部員	1	川田 勲 ◎	香南市スポーツ振興協議会副委員長
	2	百田久範○	青少年育成香南市民会議副会長
	3	大野英明	山北地区まちづくり協議会長
	4	村井洋子	吉川町まちづくり協議会事務局長
	5	尾崎俊夫	社会教育委員
	6	山中節子	香南市図書館協議会副会長
	7	白石令子	香南市社会福祉協議会 事務局長
	8	大庭静子	食生活改善推進協議会
	9	中元二三四	健康推進員協議会吉川支部
	10	西内慶明	スポーツクラブ事務局

令和元年テーマ

健康で楽しく、地域で暮らす

- 健康でないと人生を支援しても楽しい人生にならない
- 心身ともに健康に生きていくにはどうしたらよいか
- 健康でコミュニケーションを図ることができ、人間関係がうまくいくことによって幸せな人生を送ることができるように！

部会開催日程と主な議題

第1回 5.30(木)	・テーマの決定 ・各事業の取り組み精査 ・H30年度の取り組み実績について	・成人歯科検診 ・公共交通機関について
第2回 8.22(木)	・テーマに対する意見集約	
第3回 11.20(水)	・10月末KPI進捗状況から意見集約 ・第1回、第2回の部会意見とりまとめ ・テーマに対する絞り込みと深掘り	

成年熟年期部会に関連する新たな取り組み事業など「報告」

今年の新施策

不妊治療費の経済的負担の軽減を

■特定不妊治療の一部助成(12月現在)

申請済：10人

申請中：1人

検討中：3人

■担当…健康対策課

【R1の取り組み】

健康対策課の窓口での紹介や市HP、広報での周知の他、県申請に併せて市の助成を紹介。

【R2の取り組み】

来年度に向けては、市窓口で転入届けを出された方へ周知チラシを配布する予定



■香南市不妊治療費助成事業…不妊に悩む夫婦に対し、保険適用外の体外受精や顕微授精に要する費用の一部を補助することで、経済的な負担の軽減を図ります。

■対象者…一般不妊治療費助成事業の要件をすべて満たし、かつ「高知県不妊に悩む方への特定治療支援事業」の助成を受けている方

県の助成の問い合わせ先…

県中央東福祉保健所 ☎53-3172)

■助成額…治療に要した費用から、県事業の助成(1回あたり20万円上限)を受けた額を控除した額について1回あたり10万円を上限

■助成回数…通算6回

R2年度新施策や拡充事業(案)

■拡充 健康増進に向けた取り組み

・ウォーキング【生涯学習課】

秋に実施している安芸市、芸西村と連携したソーデーウォークの市民参加料の見直しなどを検討し、市民参加者を増やす。

■新規 地域コミュニティの維持確立【地域支援課】

・集落活動センターの立ち上げ(集落活動センター推進事業費補助金)

R2年5月センター開設予定の岸本地区が取り組んでいる活動(旧岸本小学校の拠点施設としての活用方針や、空き家・空き地対策、高齢者や子どもの居場所づくりなど)を支援する。

■拡充 健診受診率向上に向けた取り組み【健康対策課】

・受診率の低い40代50代が受診しやすい休日健診の日数を増加する

・未受診者訪問により、未受診理由の把握を行う

今後の部会で協議が必要な事項

テーマの 具体化

- ・テーマの絞り込み及び深掘りに関しては、意見集約をするまでの話にならなかった。
- ⇒「健康＝ウォーキング＝誰でも行いやすい」の共通認識のもと現行施策の拡充について協議していく。

■部会事務局

次回、ウォーキングに関して市の事業内容を確認し、改善できるところがあれば対応していく。

まちづくり 地域で暮らす

- ・コミュニティについて
- ⇒地域コミュニティを充実させ暮らしやすい環境へ
⇒世代間のつながりをつないでいくのは地域

■地域支援課

地域コミュニティの充実のため、市全域でまちづくり協議会・自治会を設立し、住民同士が『顔と顔が見えるつきあい』を目指す。協議会や自治会に向けた支援策としては、まちづくり活動への「地域活性化総合補助金」の交付や、地域課題をテーマにした「まちづくりセミナー」の開催、市職員が講師となって地域へ出向く「出前講座」を実施している。今後も、地域住民と一緒に考え協働のまちづくりを進めて行く。

人権 啓発

- ・アスペルガーなど障害への理解が進んでいない
 - ・障害や特性に応じた配慮の仕方等の啓発が必要
- ⇒人権教育に関しては、人権課と生涯学習課で啓発や研修を行い今後も取り組んでいく

■人権課

障害者の理解を進めていくためには、まず、職員が正しく理解する必要があると考えます。市職員研修については、全職員対象に毎年行う人権研修のなかで人権課題の一つとして取りあげている。

また、市民の皆様には、わかりやすい内容の広報や、市が行う人権啓発事業のなかで障害の理解や平成28年に施行された「障害者差別解消推進法」に基づいた合理的配慮などについて啓発を行い、障害者が地域で安心して暮らせるよう取り組んでいる。

高齢期 への 備え

- ・高齢になる前の学習
- ⇒公共交通機関利用や詐欺対策、食事や運動の講習の開催を充実する必要がある
- ・市営バス

■部会事務局

移動手段やごみ問題など高齢期部会へ引継ぐが、高齢になる前にできる対策としてこの部会での検討も深めていく。

⇒市民自らの利用が増加するような施策を検討すること。

R2 年度新施策や拡充事業（案）

■新規 サイクリングで健康増進につながる取り組み【商工水産課】

- ・「香南市自転車活用推進計画」を策定し、自転車を活用したまちづくりへ
- ・サイクリストにやさしいまちへ【健康づくり（市民向け）】

市施設・市内事業所にサイクルラックを導入。自動車が出発する際に安全な間隔を取って走る「思いやりステッカー」を作成配布する。

- ・利用者（自転車通勤者）増につなぐ【健康づくり（市民向け）】

市内事業所への通勤手段として自転車を活用してもらう。（サイクルラック・駐輪場整備補助等を企画立案しサポート）

- ・新しいサイクルイベントの開催【観光（サイクリストの誘致）】

NPO 法人 Maze-Cle が中心となり、三宝山を自転車で駆け上がるイベントを開催

■新規 空き店舗の掘り起こし【商工水産課】

市内で活用できる空き店舗を掘り起こし、起業や継業支援に繋げる

関連事業として
香南市産業振興計画の
取り組みを一部紹介



令和元年テーマ

高齢者の生活支援

- ごみ出しや資源ごみの分別等、ひとり暮らし・虚弱等で掃除や片づけに支障をきたしている高齢者もいる。食事だけでなく「生活支援」として日常の課題を考える
- まず「掃除・ごみ出し」をテーマに考える。食生活については、移動・外出支援を考える「受け皿づくり」の中で検討していく

高齢期部会

ファシリテーター 都築五明(高知工科大学)

◎…部会長 ○副部会長

部員	1	小松健一 ◎	香南市社会福祉協議会 会長
	2	福井清仁 ○	民生児童委員会 代表
	3	島崎義幸	高齢者クラブ 代表
	4	大谷修二	第1号被保険者代表
	5	矢野由美子	第2号被保険者代表
	6	岡本八重子	サービス利用者家族代表
	7	福永康夫	夜須町民生児童委員協議会
	8	安岡喜久一	香我美町まちづくり評議会長
	9	近森孝章	シルバー人材センター
	10	濱崎 勲	香美人権擁護委員協議会

部会開催日程と主な議題

第1回	・テーマの決定 ・各事業の取り組み精査 ・H30年度の取り組み実績について	・移動・外出支援の受け皿づくり (送迎ボランティア養成講座) ・リフレッシュ移動サロン ・公共交通機関について
5.17(金)		
第2回	・高齢者の移動・外出支援の受け皿づくり(経過報告) ・「掃除・ごみ出し」に関する高齢者の生活状況についての意見交換【現状のサービス内容について説明】	
7.31(水)		
第3回	・移動支援に係る新規事業・対象者拡大事業の成果報告 ・「高齢者の生活実態と支援をしていて感じること」について実践者と意見交換	
11.19(火)		
第4回	・人生支援計画に基づく評価と取り組みの報告 ・来年度からの新規・拡充事業についての検討結果の報告 ・来年度のテーマについて	
1.20(月)		

高齢期部会に関連する新たな取り組み事業など「報告」

今年の新施策

要介護1の方もサービス対象者に

- 医療機関送迎サービスの対象者拡大
申請数：12月現在 8件
- 担当…高齢者介護課

【R1の取り組み】

窓口での情報提供やケアマネージャーなど事業関係者への周知活動を実施

【R2の取り組み】

現状を調査したうえで拡大について検討していく。



- 現在、要介護2～5の方を対象としている、医療機関送迎サービスの対象者に、公共交通機関を自立して利用することが困難な要介護1の方も加えます。

- 対象者…要介護1～5(家族による送迎や公共交通機関の利用が困難な方)

障害者(市民税非課税の在宅者)

- 利用回数…月1回

- 助成額…香南市内：全額 高知市：5,000円
香美市・南国市・安芸市：3,000円



今年の新施策

住民主体の移動支援の創出を支援

- 移動・外出支援の受け皿づくり
受講者数：12月現在 1回 27人

- 担当…高齢者介護課

- 住民主体でのマイカー、法人車両を活用したやさしい見守り付きの福祉送迎サービスの創出を図ります。地域のニーズと資源に合った移動・外出支援の創出に向けた研修会を開催します。



R2 年度新施策や拡充事業(案)

- 拡充 住民主体の受け皿作り研修会(①視察研修、②運転者養成研修)【高齢者介護課】

生活支援も含めた移動手段を創出していくため、R元年度の住民主体移動外出サービスの制度・しくみと先進地を紹介する研修会に引き続き、先進地視察研修(岡山県の予定)と運転ボランティアを行ううえで、必要な知識や介護技術を学ぶ研修を行い、受け皿づくりの話し合いを進めていく。

- 新規 市営バス活用の取り組み「市営バス利用お試しセット」【地域支援課】

65歳を迎える市民(年約400人)に対して、市営バスお試し回数券(100円券11枚綴り)を含む、「市営バス利用お試しセット」(バスの利用方法や路線図及び時刻表をわかりやすく解説したもの、最寄りのバス停の時刻表、車やバイクだけの移動に頼ることのリスク説明など)の無料配布を行う。またお試し回数券に専用マークを施し、効果を測れるようにする。

今後の部会で協議が必要な事項

医療機関 送迎サービス 事業

・要支援1・2への支援対象者の拡充ができないか？

⇒タクシーや介護タクシーの利用の助成を行う制度だが、要支援1・2であれば、自身で移動ができる方もおられ、市バスや病院送迎バスなどの交通手段で移動し受診ができと考えられるため、次年度での拡大は見送った。要支援認定者で介護サービスを利用している方の医療機関への移動手段について現状を調査したうえで拡大について検討していく。

■高齢者介護課

要支援1・2の方へ聞き取り調査を行っており、調査結果をまとめたうえで対象拡大の必要性について検討していく。

関連事業 紹介

高齢者のお出かけを支援します

■リフレッシュ移動サロン

登録者数：12月現在 166人

(4月から12月までの延べ参加者2,581人)

■担当…香南市社会福祉協議会

赤岡地区	週1回
香我美地区	月3回
吉川地区	週1回
夜須地区	月2回
野市地区	月3回

29年度

登録者数 137人

延参加者 3,358人

30年度

登録者数 147人

延参加者 3,397人



■地域ごとにドア To ドアでお買い物を支援する事業で、対象は70才以上の高齢者。(諸要件あり)

地域での利用回数を増やしてきた。次年度からも、利用者の要望により回数など検討する。

広報

・高齢者の生活支援についての事業をもっと広く広報してほしい

⇒広報については、市の広報誌や社協だよりに掲載して周知を図っている。基本的には地域包括支援センターの総合相談員や社会福祉協議会の地域支援員を通じてサービスの紹介をしてもらっている。また、ほかにも民生委員協議会など高齢者に関わる会に出向いても説明をしている。これからも効果的に生活支援につながるように、社会福祉協議会など関係機関と連携して必要な方にサービスを紹介して、特に中山間地域など地域の特色も考慮しながら、より広くさまざまな機会に広報していく。パンフレットについては、既存のものがあるので、それを活用する。

■高齢者介護課

今回の会では、現在行っている周知方法を報告して、あらためて、周知の対象や方法について、意見を聞く予定。

掃除 ごみ出し 支援

・高齢者の「掃除・ごみ出し」に関して、在宅での生活存続のために必要な事項を協議していく

⇒地域支援事業での生活支援体制整備事業（社会福祉協議会に委託）において、「のいち座談会」が、ゴミ出しで特に地域で高齢者のプラスチックゴミの分別について十分理解できていない状況が見られるため、分別の必要性を伝えるため、高知プラスチック再生センター（仁井田）に視察に行き研修している。こうした取り組みが、さらに広がって高齢者の在宅での生活存続のために住民互助の意識が広がっていくように働きかけをしていきたいと考えている。

対応例

■社協等のサービス利用時の登録

⇒手続きの時間短縮

⇒県外家族のサービス情報や手続きの手助け支援

■ごみステーション回収の時間ルール

⇒8時までに出すルールの再考。ヘルパーの業務時間の兼ね合い。

⇒公助・共助の検討が必要

■サービスを利用しているのに、ごみ出しの問題が解決しない。

⇒どこに問題があるのか。課題の調査が必要

■環境対策課

ごみステーション回収時間や回収場所を家の前に変更することは、現時点ではできない。地域の協力体制など今後どのような支援策があるか関係課と協議し、部会へ報告する。

■部会事務局

高齢者の「掃除、ごみ出し」の問題については、生活援助を行うシルバー人材センターの会員が十分ではない状況もあり、サービス拡大を検討する場合にはどうしても会員確保を確実に行う必要がある。このため、会員確保につながる取り組みとして市の広報誌でシルバー人材センターの特集を行い、どのような団体なのか理解を深めていく。